

# 日本一、働きやすい県庁(しょくば)アンケート2017の概要

平成 29 年 12 月 11 日  
中央労使協働委員会

本アンケートは、県と県職員労働組合が「労使協働」の取組の一環として、職員の満足度や意欲・問題意識等に関する状況を把握し、今後の「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」の取組を推進していくために実施するものです。

## 1 調査方法

### (1) 調査対象

職員 5,166 人（派遣職員等を除く）を対象に実施しました。  
なお、有効回答者数は 3,397 人、回答率 65.76%でした。

### (2) 調査期間

平成 29 (2017) 年 10 月 2 日～10 月 18 日

### (3) 調査内容

日本一、働きやすい県庁(しょくば)を実現するために必要と考えられる 6 つのテーマに分類し、集計しました。

- |                          |          |
|--------------------------|----------|
| ① 安全・安心に関すること            | (設問 6 問) |
| ② 時間に関すること               | (設問 5 問) |
| ③ 男女共同に関すること             | (設問 4 問) |
| ④ 職場の「支えあい」を実現するために      | (設問 5 問) |
| ⑤ 意欲を持って働くために            | (設問 6 問) |
| ⑥ ワーク・ライフ・マネジメントを実現するために | (設問 2 問) |

計 28 問について、「そう思う」「やや思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の 4 つの選択肢により、職員がどれだけ満足しているかについて調査を行いました。

### (4) 算出方法

設問は 5 点満点で、全体の最高は 100 点となるようになっています。

## 2 調査結果の概要

### (1) 全体の特徴

#### ① 全体の満足度

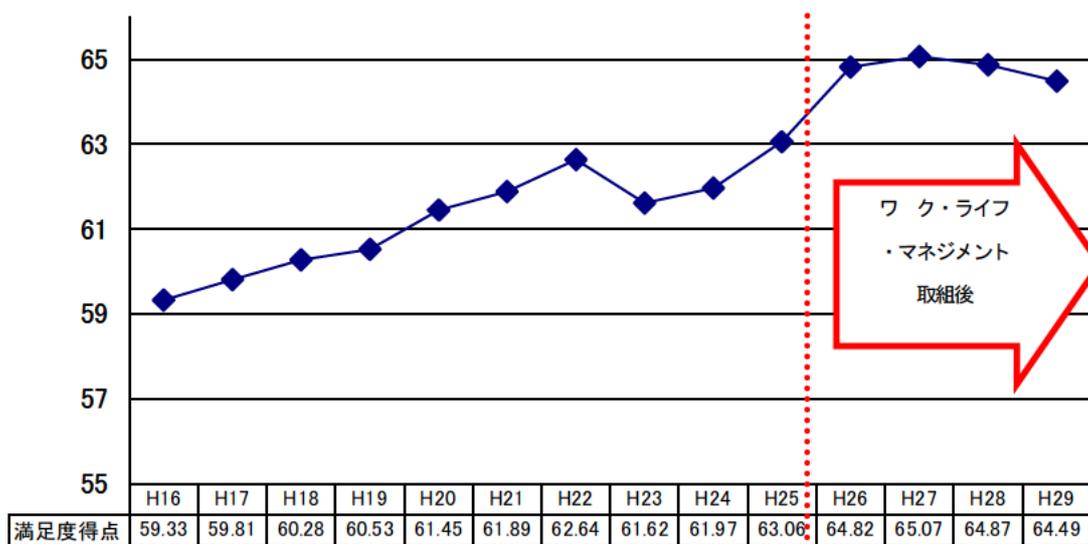
全体の満足度は64.49点となり、昨年度よりも微減となりましたが、平成26年度のワーク・ライフ・マネジメント取組後は、従来よりも高い得点で推移しています。

#### (参考) 職員アンケートの全体満足度得点推移

H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)
59.33	59.81	60.28	60.53	61.45	61.89
H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)
62.64	61.62	61.97	63.06 ⑤	64.82 ③	65.07 ①
H28 (2016)	H29 (2017)				
64.87 ②	64.49 ④				

※ H23までのアンケートは設問数及び内容が現在のアンケートとは異なります。

※ ①～⑤は順位を表しています。



- ② 設問別の満足度の最高点は「問 8 通勤時間」(3.77 点)、最低点は「問 26 昇任のしくみ」(2.67 点)でした。

3.50 以上の高得点は「問 8 通勤時間」(3.77 点)、「問 12 子育て介護への理解」(3.71 点)、「問 4 仕事上の相談相手」(3.67 点)、「問 15 性別にかかわらず能力の発揮」(3.66 点)、「問 5 ハラスメント」(3.64 点)、「問 7 休暇取得」(3.53 点)、「問 16 協力し合う雰囲気、人間関係」(3.50 点)、の 7 項目となりました。

また、「問 26 昇任のしくみ」(2.67 点)、「問 1 職場環境」(2.71 点)、「問 28 充実した働き方・生き方」(2.81 点)、が全体と比較して低い得点となっています。

なお、ワーク・ライフ・マネジメントに関する「問 27 ワーク・ライフ・マネジメントを充実させていこうという雰囲気」(3.32 点)、「問 28 充実した働き方・生き方」(2.81 点)の 2 項目は、いずれも昨年度を上回りました。

## (2) 項目別の満足度の特徴

### ① 所属

他の地域機関 (65.96 点)、地域庁舎の事務所 (64.34 点)、本庁 (64.20 点)、県立学校 (63.74 点) の順となりました。

また、昨年度、最低点であった県立学校の点数が 0.85 点増加しているほか、最高点と最低点の差が昨年度と比べて縮まっています。

### ② 部局・地域庁舎

部局別満足度では、出納局 (76.48 点)、病院事業庁 (73.57 点)、議会事務局 (71.48 点) が高く、防災対策部 (56.38 点)、健康福祉部 (62.73 点)、雇用経済部 (62.94 点) が低い結果となりました。

また、昨年度、最低点であった防災対策部の点数が 2.79 点増加しているほか、最高点と最低点の差が昨年度と比べて縮まっています。

地域庁舎の地域別満足度では、尾鷲庁舎 (71.00 点) が最も高く、鈴鹿庁舎 (58.75 点) が最も低い結果となりました。

また、最高点と最低点の差が昨年度と比べて広がっています。

### ③ 役職

課長級以上 (補佐級管理職を含む) (72.56 点)、一般 (65.43 点)、主任級 (63.53 点)、主査級 (62.48 点)、課長補佐級 (61.97 点) の順となりました。

また、昨年度、最低点であった課長補佐級の点数が 0.21 点増加しているほか、最高点と最低点の差が昨年度と比べて縮まっています。

### (3) 日本一、働きやすい県庁の推進に向けての自由意見

全体で延べ687件の意見がありました。

- ① 最も多かったのは、仕事配分、業務量に関するもので、98件(14.3%)あり、業務量に応じた人員配置、業務量等の対策・実施を求める内容でした。
- ② 次に多かった意見は、職場環境に関する意見で67件(9.8%)あり、適切な勤務スペースの改善等の対策・実施を求める内容でした。
- ③ 他に多かった意見は、勤務時間削減の取組(業務改善)に関するもの57件(8.3%)、人事異動に関するもので28件(4.1%)、休暇取得に関するもの23件(3.3%)、職場の人間関係に関するもの23件(3.3%)となりました。

### 3 今後の取組

アンケート結果(数値、自由記載意見等)を各部局へ提供し、各部局等労使協働委員会において課題について検討するとともに、今年度の日本一、働きやすい県庁(しょくば)の取組に活用してもらいます

今後は、各部局等労使協働委員会での検討状況を把握し、改善している項目については、水平展開できないか、低下が顕著である項目については、課題・要因の分析を促すなど労使で取組を進めていきます。